

## 令和 2 (2020) 年度事業報告

### 1、事業主体、施設

事業主体名	社会福祉法人三重健寿会
代表者名	理事長 柿澤善樹
施設名	特別養護老人ホーム往還
所在地	三重県三重郡朝日町大字柿字熊之田 564 番地
主な事業	特別養護老人ホーム往還 100 名 介護保険事業所番号 2472200365
	往還ショートステイ 10 名 介護保険事業所番号 2472200373
	デイサービスセンター往還 (通所介護、介護予防通所介護) 19 名 介護保険事業所番号 2472200530
	障害者ショートステイ往還 空床利用 事業所番号 2412220283
電話番号	059-377-6011
FAX 番号	059-377-6001
E-mail	<a href="mailto:oukan@ccnetmie.ne.jp">oukan@ccnetmie.ne.jp</a>
Home page	<a href="https://miekenjukai.com">https://miekenjukai.com</a>
施設の概要	鉄筋コンクリート造陸屋根 3 階建 3,311.36 m <sup>2</sup> 鉄骨造陸屋根 3 階建 1871.67 m <sup>2</sup> 合計 5183.03 m <sup>2</sup>

## 建造物使用概要

### 西棟

1階ショートステイ（老人、障害者）	
花水木ユニット	10室
1階入所専用	
花菖蒲ユニット	10室
1階デイサービス	19名
2階入所専用	
菊ユニット	10室
皐月ユニット	10室
桜ユニット	10室
3階入所専用	
藤ユニット	10室
蔦ユニット	10室

### 東棟

1階 往還ホール	
2階 入所専用	
紫陽花ユニット	10室
撫子ユニット	10室
3階 入所専用	
白梅ユニット	10室
水仙ユニット	10室

## 2、総括

老人福祉法に定める理念に基づき、老人福祉を推進するため、平成17年8月3日、社会福祉法人三重健寿会を設立した。さらに平成18年6月16日、特別養護老人ホーム往還を開設した。

全室個室、ユニット方式で運営する利点をさらに追及してきた。従来型に比べ、「個別に対応する、家庭的でゆったりとした介護」を目指してきた。入浴介助は感染予防の観点から多人数でなく一人用の浴槽を用いた個浴による入浴介助にて行っている。排泄介助はオムツによる排泄を極力なくし、特に昼間はリハビリパンツを使用し、便器で排泄するようにしてきた。これはユニット入所者10名の排泄リズムとサインを理解することにより対応でき、ユニット型の典型的利点である。介護保険混年4月改定で1ユニットの定員を15名（以下）と変更した。今後設立されるユニット型特養は1ユニット15名

定員となる。15名では高齢者のリズムとサインを見抜くことが難しくなる可能性が高い。5年前、入所者平均介護度が一時期4.10となり、その頃増築した東棟には一般個室でなく全て機械浴的個室を導入した。最近介護度が3.6まで下がり、一般個室の浴槽を要望する声が出ている。

現在、全てのユニットにて、「麺の日」（木曜日）、炊き込みご飯以外は、朝昼晩とユニット炊飯を行っている。食事前、食堂に炊飯の湯気と匂いがただよい、少しでも家庭的雰囲気味わえるようにしている。

デイサービス事業は平成21年10月に開始した。現利用者数は伸び悩んでいるどころか減少している。一貫して赤字状態であり新たな対応が必要である。しかしながら、地域に密着した居宅介護支援事業、在宅介護から入所介護という介護の流れの中で、居宅介護支援センター、デイサービス、ショート、入所という4本柱を軸とし、介護全般を担う体制が理想的である。

当施設も入所待機者への対応（介護5で複数の待機者がいた）、施設経営確立のため、40床の増床を平成25年4月1日より行った。また、平成26年4月1日より、ショートステイ20名を10名とし、10名分を入所定員へ振り分け、入所定員100名となっている。当施設設立時と比べ、周辺の要介護老人入所施設定員は概算で3倍以上に増えている。また、二昨年度から入所利用率が低くなり当然経営状態が極端に悪化している。昨年度は経営状態が少し改善された。

現在定款には第二種社会福祉事業として、（イ）老人短期入所事業の経営（ロ）老人デイサービス事業の経営と共に（ハ）放課後児童健全育成事業の経営（二）障害福祉サービス事業の経営を列記している。北欧にて行われている高齢者、幼児、障害者の三者を融合させた施設を検討していたが、今後定款変更を含め、どうするか課題である。

地域包括ケアシステム具体化、介護保険制度改正が始まった。介護保険本体の給付から要支援1、2への給付、訪問介護、通所介護を外し、対応するサービスを地域包括事業として再編する。通所介護、特に定員10名以下の小規模型については地域密着型へ移行させ、新たな事業所開設については保険者の管理下に置く。特養への入所を原則介護3以上にすること、利用者自己負担を2割（経済状況により3割）にするなどが行われてきた。「施設でない高齢者住居の確保」、「在宅での生活継続のしくみづくり」、「在宅での看取り」を視野に入れた改正が平成30年4月よりおこなわれている。団塊の世代が75歳以上となる2025年に向けて、国民1人1人が状態に応じた適切なサービスを受けられるように、「地域包括ケアシステムの推進」、「自立支援・重度化防止に資する質の高い介護サービスの実現」、「多様な人材の確保と生産性の向上」、「介護サービスの適正化・重点化を通じた制度の安定性・持続可能性の確保」を図ることを目的としている。

当施設では上記改定への対応として広域型を維持するためデイサービスについて、平成28年4月より定員を19名とした。本年4月改定ではデイサービスでの入浴介助で、自宅で

の入浴支援を行うことについて加算が設定された。「自立支援」は入所介助でも以前から唱えられていた。今後ショートステイでも同様の加算が設定される可能性がある。

職員の研修について、施設内での研修に重点を置き多数の研修会を行った。外部事業者により当施設を利用し「介護福祉士実務者研修」を行った。また、当施設独自で「介護職員初任者研修」事業を行ったが現在は「介護福祉士実務者研修」と同様に外部業者が当施設で行っている。

各種委員会を設け、個別の課題に、専門的に検討し、施設運営に還元してきた。

施設設立 2 年目以来、毎年秋に「往還祭り」を開催し、利用者ご家族、地域住民等にも来て頂いた。東棟増築以降、施設が広くなり、雨天の場合も予定通り行えるようにと建物内で行っていた。しかし二昨年、一昨年と施設外、特に阿波踊りを屋外で行った。阿波踊りは四日市市の「極楽連」の皆さんに来ていただいている朝日中学校吹奏楽部の演奏も行っている。職員のサークル「和太鼓」演奏も披露された。阿波踊りは「車イス阿波踊り」として入所ご高齢者は車イスで、ご家族職員とともに輪になって踊り、楽しいものである。「極楽連」の方に協力を仰ぎ、往還祭り恒例の出し物にしてゆくとよい。「車イス伊勢朝日音頭」も考えられる。しかし、昨年は、「新型コロナ」の影響で例年通りの開催様式でなく往還祭りを「文化祭」としてご家族の参加なしで開催した。阿波踊りも吹奏楽演奏も行わなかった。不定期に、フラダンス、舞踊など踊りや歌謡ショー、ギター演奏、定期的には大正琴演奏等に来ていただいていたが全て中止となった。現在、書道クラブ、お花クラブが活動している。カラオケは「新型コロナ」感染予防の観点から行わなかった。また職員内のクラブとして「和太鼓同好会」、「行き隊やり隊遊び隊」などクラブ活動を中止している。しかし、他の施設内行事はレク係職員御中心となり例年以上に行っている。今後、秋の往還祭りをどのような形にするのか、他の行事をどうするのか状況を見て判断する必要がある。家族の面会は高齢者の状態がかなり悪い方を除いてユニット内での面会を禁止し、往還ホール、正面玄関スペースで行ったり、タブレット PC を用いた「オンライン面会」を実施してきた。

施設内機関紙「往還通信」を平成 19 年 12 月より平成 25 年 5 月まで毎月 1 回発行していたがその後は 3 ヶ月に 1 回発行としている。「デイ通信」（ひまわりの唄）を平成 28 年 3 月より毎月 1 回発行している。施設内の行事など出来事を、主に利用者御家族、他の介護事業所を対象にして内部情報を発信するものである。広く対外的に情報を発信するものとして、インターネットホームページを平成 20 年 10 月から開設している。

### 3、年間利用者数 （令和 2 年度）

入所申し込み待機者は令和 3 年 3 月 31 日現在、42 名（昨年 43 名）であった。

入所者延べ人数は 34,053 名（昨年 30,418 名一昨年 30,978 名、以下 34,089、35,885、34,885、35,349、30,584 ）であった。

入所利用率は 93.3%（昨年 83.3%一昨年 84.8%、以下 93.3%、98.4、95.5、96.8、93.1、99.01）であった。

入所者平均介護度は令和3年3月31日現在 3.62(昨年3.65一昨年3.67、以下3.80、3.76、3.80、3.76、3.89、3.79、3.78、4.10、4.06、4.04、3.94)であった。

入所者で退所された人数は27名(昨年35名、一昨年28名)で、施設内で看取ったのは17名(昨年21名一昨年21名)、病院移送 10名(昨年11名、一昨年7名)であった。

3月31日現在入居者保険者		3月31日介護度別	
四日市市	15名(昨年17名、一昨年31名)	介護5	15名(14名)
桑名市	47名(昨年36名、一昨年27名)	介護4	42名(35名)
川越町	5名(昨年7名、一昨年8名)	介護3	32名(29名)
朝日町	19名(昨年20名、一昨年13名)	介護2	5名(5名)
東員町	5名(昨年3名、一昨年3名)	介護1	3名(1名)
菰野町	1名(昨年1名、一昨年1名)		
いなべ市	3名(昨年0名)		
川崎市	1名(昨年0名)		
名古屋市	1名(昨年0名)		
		平均介護度	3.62 (昨年3.65)

#### ショートステイ

居室利用率 (R2年4月～R3年3月) 10床

昨年度一年間利用者の保険者(積算数)		利用者の介護度	
四日市市	7名(3名)	介護5	6名(31名)
桑名市	29名(28名)	介護4	62名(56名)
朝日町	5名(10名)	介護3	54名(30名)
川越町	12名(18名)	介護2	44名(71名)
鈴鹿	1名	介護1	35名(40名)
東員町	1名		
員弁町	1名	要支援2	2名(2名)
菰野町	1名		
紀北広域連合	1名	要支援1	0名(1名)

#### デイサービス

利用者の保険者数(純数)は		利用者の介護度	
四日市市	1名(2名)	介護5	0名(0名)
桑名市	5名(7名)	介護4	3名(4名)
朝日町	2名(3名)	介護3	0名(3名)
川越町	2名(6名)	介護2	4名(6名)
		介護1	3名(5名)
		要支援2	0名(0名)
利用者数		要支援1	0名(0名)
月曜日	6名(昨年4名)		

火曜日	0名(昨年2名)
水曜日	0名(昨年2名)
木曜日	4名(昨年2名)
金曜日	3名(昨年3名)
土曜日	5名(昨年5名)

月別利用者数		R1	H30
令和2年	4月	77名(104名, 117名)	
	5月	85名(107名, 130名)	
	6月	80名(103名, 122名)	
	7月	82名(105名, 105名)	
	8月	87名(84名, 115名)	
	9月	72名(88名, 103名)	
	10月	83名(80名, 129名)	
	11月	72名(92名, 108名)	
	12月	65名(82名, 104名)	
	1月	63名(66名, 94名)	
	2月	65名(69名, 94名)	
	3月	69名(74名, 104名)	

#### 4、職員体制(令和3年3月31日現在)

介護職員	正職員	介護福祉士	28名
		介護福祉士実務者研修	7名
		2級ヘルパー	1名
		介護職員初任者研修	1名
		無資格	2名(内1名理学療法士)
	パート	介護福祉士	12名
		2級ヘルパー	2名
		介護福祉士実務者研修	1名
		無資格	1名
看護職員	正職員	看護師	1名
		准看護師	2名
	パート	看護師	0名
		准看護師	0名
機能訓練指導員	正職員	1名(施設長補佐兼任)	
歯科衛生士	正職員	1名(生活相談員兼任)	

介護支援専門員	正職員	1名
生活相談員	正職員	2名 (1名歯科衛生士兼任)
	パート	1名
管理栄養士	正職員	1名
事務員	正職員	1名
施設長	正職員	1名
施設長補佐	正職員	1名 (機能訓練指導員兼任)
用務員	パート	4名
サポートスタッフ	パート	9名
管理宿直	パート	3名
嘱託医師		1名
嘱託歯科医師		1名

\*資格所有者数

介護福祉士	42名
介護福祉士実務者研修	9名
2級ホームヘルパー	26名
介護職員初任者研修	3名
介護支援専門員	6名
社会福祉主事任用資格	3名
看護師	1名
准看護師	2名
歯科衛生士	1名
管理栄養士	1名
作業療法士	1名

5、勤務体制

		始業	終業	休息
日勤	早番 (介護職)	6:30	15:30	1時間
日勤	平常	8:30	17:30	1時間
日勤	遅番 (介護職)	13:00	22:00	1時間
日勤	遅番 (看護職)	10:00	19:00	1時間
夜勤	夜勤	21:45	6:45	1時間

(看護職員遅番担当者は帰宅後、夜間オンコール体制に入る)

宿直者は17時30分から8時30分であるが、介護職遅番勤務者が帰った後、約22時30分頃より宿直室にて就眠可、朝は介護職早番勤務者が出勤する前に起床し、職員玄関を開ける。

用務（掃除洗濯）担当者は午後3時間半ほど2名が出勤する。

#### 6、理事会, 評議員会等の開催

##### 監事会

令和2年（2020）6月13日、15時から17時

##### 理事会、

令和2年（2020）6月13日、17時から18時

第1号議案 令和2年度事業報告

第2号議案 令和2年度決算報告

第3号議案 令和2年度監査報告

第4号議案 評議員会開催日時

令和3年3月30日、17時から18時

第1号議案 令和3年度事業計画

第2号議案 令和2年度補正予算

第3号議案 令和3年度予算計画

##### 定例評議員会

令和2年（2020）6月28日 書面によるみなし決議

第1号議案 平成31年度事業報告、

平成31年度決算報告

#### 7、各種専門委員会（多職種会議時等に、随時行う）

入所判定委員会 施設長、施設長補佐、統括主任、介護総主任、看護リーダー、管理栄養士、生活相談員、ケアマネ

身体拘束廃止委員会 同上

事故防止委員会 同上

感染委員会 同上

褥瘡委員会 同上

防災委員会 同上

給食委員会 同上

衛生委員会 同上

往還祭実行委員会 6月から10月



## 8. 職員研修実施内容

令和2年4月～令和3年3月

### 往還施設内勉強会（毎月第2木曜16時30分～17時30分）

倫理・法令遵守の理解

接遇

権利擁護・ハラスメント・苦情

褥瘡・緊急時の対応

記録・報告の仕方

ケアプラン・アセスメント

認知症

看取り

摂食嚥下と口腔ケア

事故予防・身体拘束① 事故防止の理解 高齢者の転倒予防

② ヒヤリハットの目的と意義 身体拘束排除の意義

感染・食中毒① 感染症の予防とまん延防止 食中毒の予防とまん延防止

② 標準感染予防策 インフルエンザ・ノロウイルス対応

### 外部研修

10月1日 社会福祉施設における感染症対策 三重病院臨床研究部長谷口 清州氏

1月15日 認知症予防・改善に役立つ「回想法」 下山久之氏

ケアマネ&介護スタッフのための、コロナ禍におけるコミュニケーション  
術 奥田亜由子氏

高齢者施設における感染制御と予防対策 中村 敦氏

触れ合えない時代のいま ペットロボットパロを活用した認知症の人への  
支援 堀容子氏

1月21日 高齢者の口腔ケア ～基本と実技 丹羽 友美氏 金海京子氏

1月23日 第2回 SARAYA 感染対策 Web セミナー（介護福祉施設編）

感染拡大させない介護福祉施設でゾーニングのすすめ 高橋 幹夫氏

新型コロナウイルス対応の防護具と環境・手指の消毒 大久保憲氏

3月3日 もっと“つながる”共感コミュニケーション 米山 哲司氏

3月27日 パロ・トレーナー養成講座 堀 容子氏

### ネット研修

4月29日 炎上させない苦情・クレーム対応研修

5月5日 「利益を生み出す」相談員の仕事術研修

5月5日 効果的・効率的な通所介護計画の作り方・評価の仕方研修

- 5月21日 ショートステイにおける相談援助の課題と生活相談員の役割研修
- 5月25日 排泄（排尿・排便）支援の知識と技術の基礎研修
- 6月13日 介護事業所のためのチームワーク向上研修
- 6月20日 感染症の予防及び発生時の対応基礎研修
- 6月29日 看取り期及び死後のグリーフケア基礎研修
- 7月28日 気疲れしない関係を創るトレーニング研修
- 8月29日 認知症高齢者ケアプラン作成研修
- 9月30日 アドラー心理学に学ぶコミュニケーションスキルアップ研修
- 10月30日 介護職向けメンバーシップ研修会
- 11月30日 介護事業所のためのチームワーク向上研修
- 12月31日 スタッフがプロの介護職に成長するリーダーの関わり方
- 1月31日 明日からできるシーティング実践セミナー
- 2月26日 力と意欲を引き出す介助術
- 3月31日 とことん実技のトランスファー研修

#### 9. その他の研修

- 6月21日 初任者研修（7月5、12、19日）
- 11月8日 実務者研修（11月11、15、22、29、12月6、13、20日）

#### 10. 行事

- 4月1日 お花見レク
- 5月8日 皐月ご膳
- 6月16日 開所記念日 往還開所記念ご膳 紅白まんじゅう
- 6月18日 光回線工事 永年勤続表彰
- 7月7日 七夕ご膳
- 7月21日 土用の丑
- 8月1日 サマーおやつの日
- 9月18日 敬老お祝いご膳
- 10月19日 秋の味覚ご膳
- 10月17日 往還文化祭（25日まで）
- 11月7日 寿司ご膳
- 12月24日 クリスマスイベント、クリスマスケーキ
- 12月25日 クリスマスメニュー
- 12月31日 大晦日 年越しそば ネギロト井
- 1月1日 元旦 往還神社参拝 元旦ご膳
- 1月7日 七草粥
- 1月8日 新春お茶会

- 1月11日 鏡開き ぜんざい
- 2月3日 節分ご膳 節分レク 鬼の顔ねりきり
- 2月14日 手作りバレンタインチョコケーキ
- 3月3日 ひな祭りご膳
- 3月17日 桜イベント (31日まで)

#### 11 防災訓練

- 6月30日 消防設備点検
- 9月10日 14:00~14:40 防災訓練 (朝明川氾濫訓練)
- 12月21日 消防設備点検
- 令和3年3月11日 14:00~14:45 防災訓練 (各災害毎のポイント・備品場所の確認・ライフラインの確認など)

#### 12 健康管理

- 5月14日 夜勤者健診、ストレスチェック
- 10月15日 インフルエンザワクチン接種開始
- 11月5日 職員健康診断
- 入居者健康診断 集団検診ではなく随時行う

#### 13 職員会議の開催

- 管理者会議 (毎月1回) 理事長、施設長、施設長補佐
- 運営会議 (毎月1回) 施設長、施設長補佐、統括主任、介護総主任
- 多職種会議 (毎月第2木曜) 施設長、施設長補佐、統括主任、介護総主任、看護リーダー、ケアマネ、生活相談員、管理栄養士
- 介護会議 (毎月1回) 統括主任、介護総主任、ユニットリーダー
- ユニット会議 各ユニットで開催
- 看護師会議 (毎月1回) 看護リーダー、看護師
- 相談員・ケアマネ会議 (毎月1回) 生活相談員(入所・ショート・デイ)、ケアマネ